

**製品名: サイクリン E2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04069**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.43mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNE2
別名	CCNE2; G1/S-specific cyclin-E2
遺伝子 ID	9134
SwissProt ID	O96020
免疫原	ヒトサイクリン E2 の合成ペプチド

**背景**

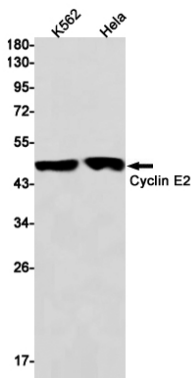
ヒトサイクリン E2 遺伝子は、サイクリン E に最も近縁な 404 アミノ酸からなるタンパク質をコードしています。サイクリン E2

mRNA レベルは G1/S 期遷移時にピークに達します。サイクリン E2 は Cdk2 と結合し、機能的キナーゼ複合体を形成します。この複合体は p27 (Kip1) と p21 (Cip1) の両方によって阻害されます。サイクリン E2/Cdk2 は in vitro でヒストン H1 をリン酸化します。G1 期サイクリン E は CDK2 を活性化することで DNA 合成の開始を制御します。ヒトの癌において、サイクリン E の異常に高い発現レベルが頻繁に観察されています。

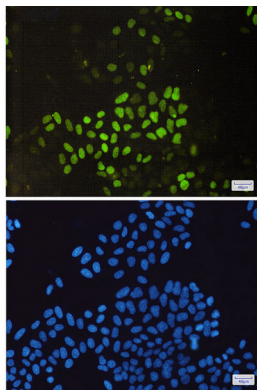
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



サイクリン E2 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中のサイクリン E2 のウエスタンブロット分析。



サイクリン E2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のサイクリン E2 (緑) の免疫細胞化学分析